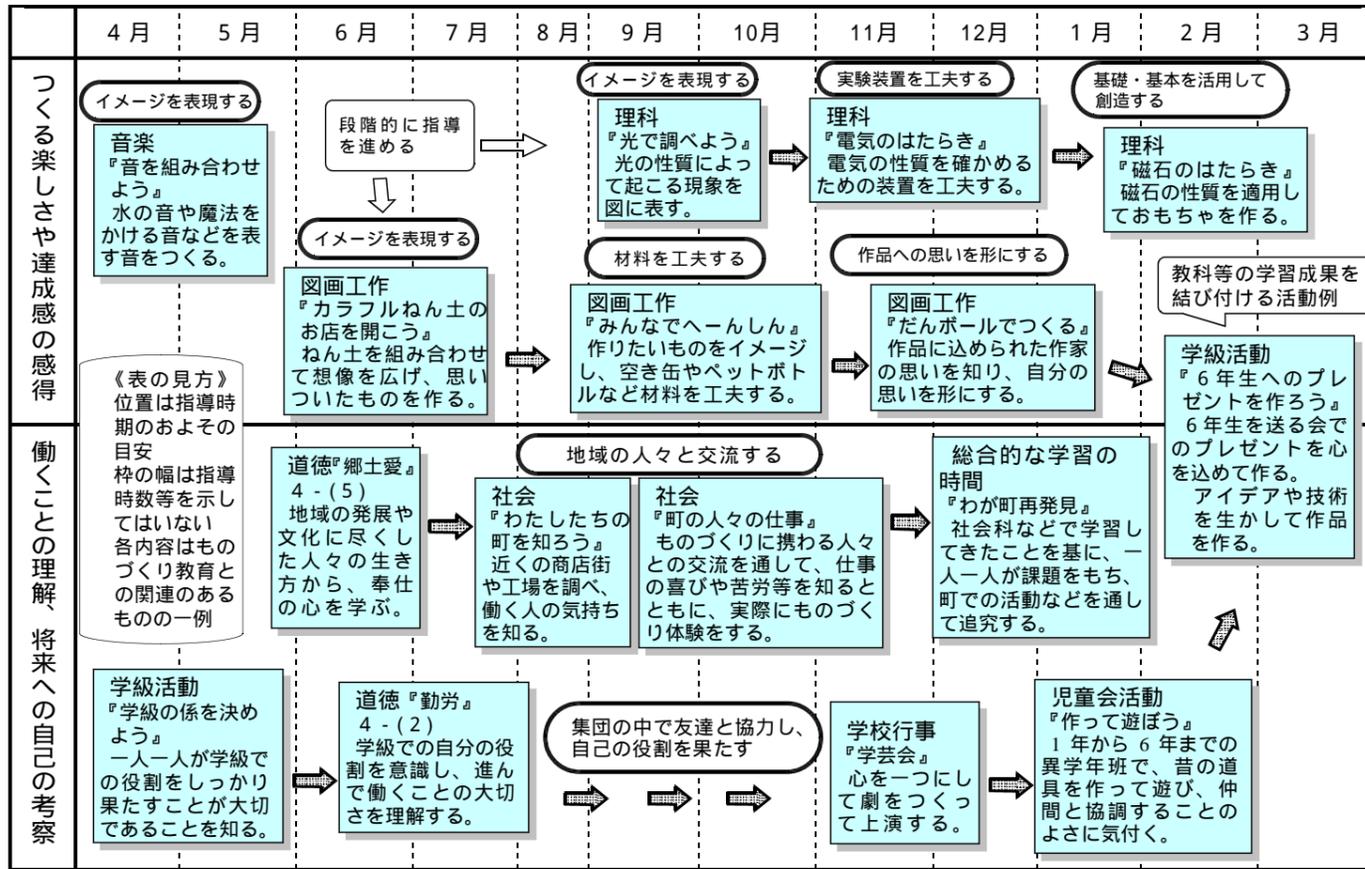


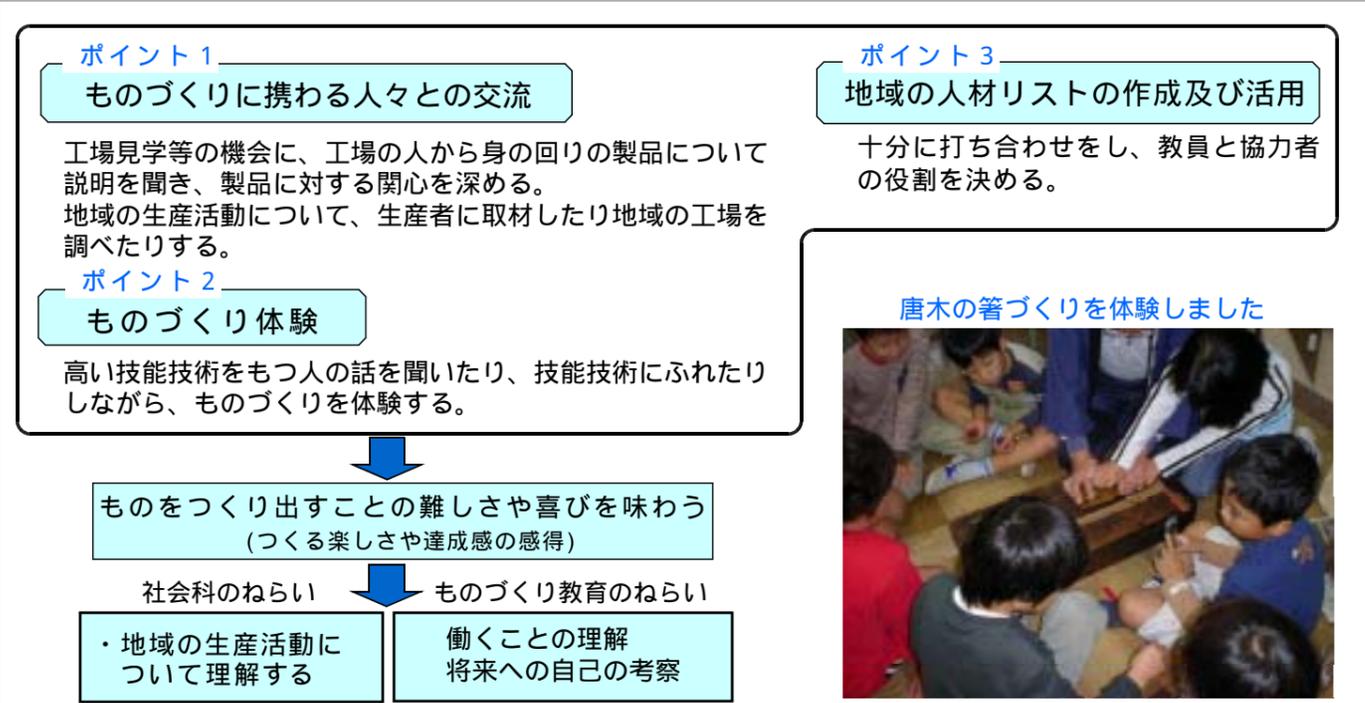
ものづくり教育にかかわる年間指導計画例（小学校第3学年）

ものづくり教育を学校全体で計画的・系統的に推進するための年間指導計画例です。この年間指導計画例は、地域のものづくりに携わる人々の協力を得てものづくり教育を推進している小学校を想定して作成しました。



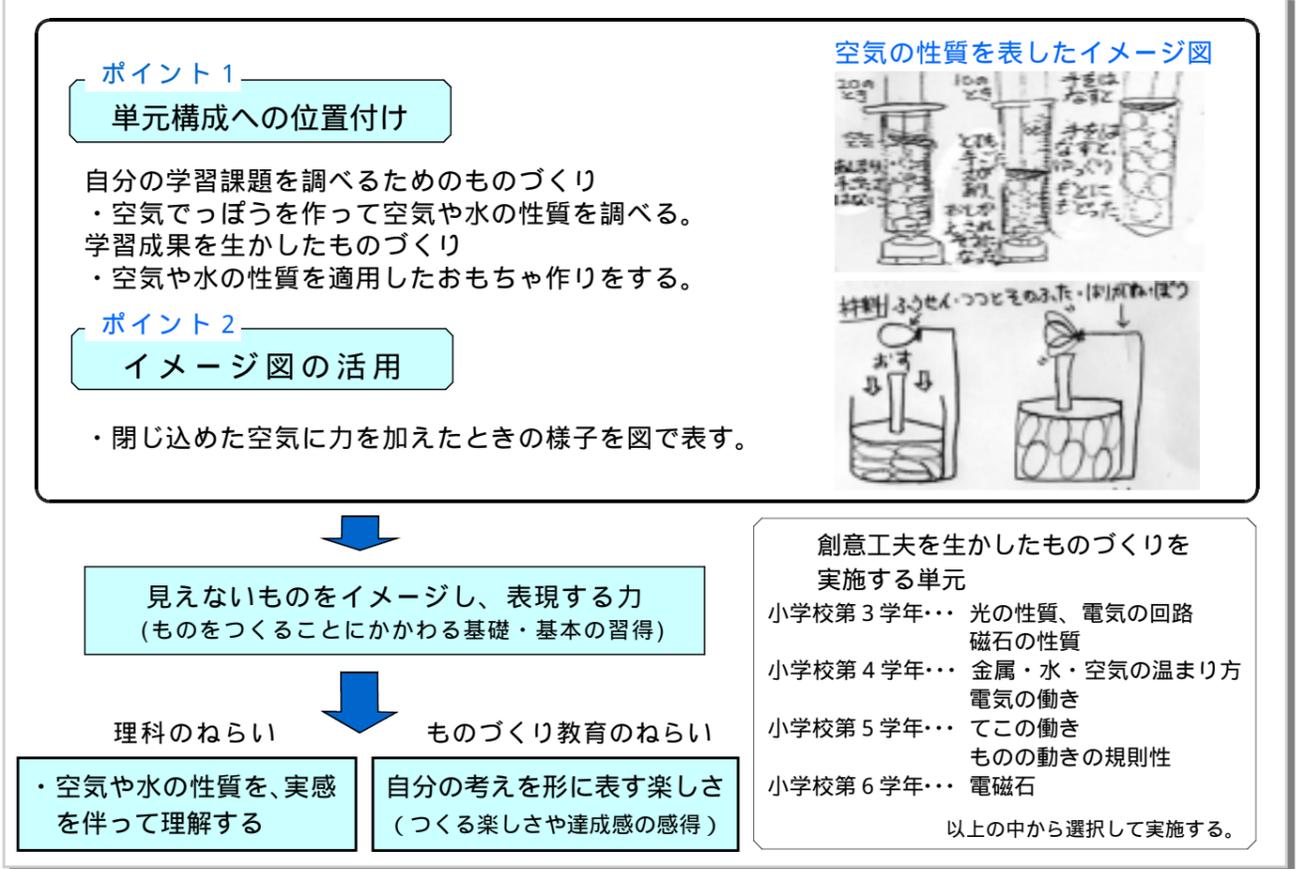
実践例1

社会 小学校第3学年 「くらしとものを作る仕事」 【ねらい イ・ウ】 地域のものづくりに携わる人とのかかわり



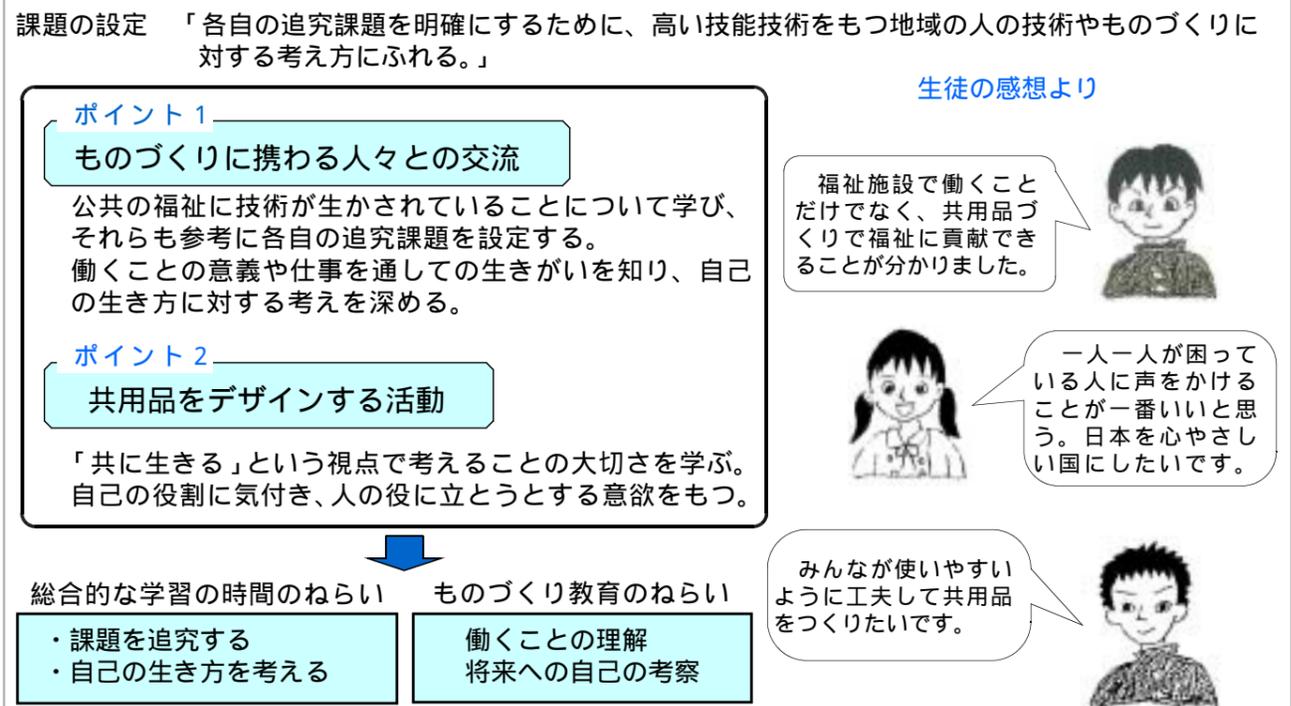
実践例2

理科 小学校第4学年 「空気や水の性質」 【ねらい ア・イ】 創意工夫を生かしたものづくり



実践例3

総合的な学習の時間 中学校第1学年 「『生きる』を考えよう」 【ねらい ウ】 技術を生かした社会貢献



ものづくり教育に取り組むために

1 教科等のねらいとものづくり教育のねらいとの関連を図る

(かかわりが深い かかわりがある)

教科等	ものづくり教育のねらい			小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領にみられるものづくり教育とかかわりのある主な内容
	ア	イ	ウ	
国語				目的に応じて筋道を立てて話すこと、書くこと
社会				産業の様子を理解すること 仕事に携わっている人々の工夫を理解すること
算数、数学				目的に応じて適切な測定をすること 基本的な図形を作図すること
理科				物の性質や働きについて理解すること(ものづくりなどの活動を通して)
生活				身近にある物を使って遊びを工夫すること 自分の役割を積極的に果たすこと
音楽				リズムや旋律をつくって表現すること
図画工作、美術				創意工夫して絵や立体に表現すること
家庭、技術・家庭				製作に必要な図をかくこと 生活に役立つ物を製作すること
体育、保健体育				安全に気を付けること 表現リズム遊びをすること 創作ダンスをすること
外国語				場面や状況に合わせて自分の考えを話すこと、書くこと
道徳				勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもつこと
特別活動				勤労の尊さや創造する喜びを体得すること 社会奉仕の精神をもつこと
総合的な学習の時間				社会体験、体験的な学習、問題解決的な学習を通して自己の生き方を考えること

2 年間指導計画を作成する

各学年の年間指導計画から、ものづくり教育の3つのねらいと関連する内容を含んだ単元等を整理し、それらを関連付けて学校全体で系統的な年間指導計画を作成する。(2ページ参照)

3 授業展開を工夫する

実践を基に改善を図る

創意工夫を生かしたものづくり

粘り強く取り組む態度

- つくる目的や方法を明確にする。
- ものづくりの見通しを図や文章などに表す。
- 自分の考えを確認しながら活動する。

ものづくりへの意欲

- 自分の考えを工夫や努力によって形にできたという体験をする。
- 教員は適切な材料や用具等、環境を整える。
- 教員は知識・技能面で個に応じた支援を行う。
- 友達同士で励まし合ったり認め合ったりする。

ものづくりに携わる人とのかかわり

働くことを尊ぶ姿勢

- 技能技術の素晴らしさや、ものをつくる仕事の喜び、工夫、苦勞に気付く。
- 高い技能技術をもつ人の話を聞く、仕事の様子を見る、作品や道具にふれる、仕事を体験することなどの活動をする。

主体的に取り組む態度

- 自分の生き方について課題意識をもつ。
- 働くことについて分かったことや考えたことを文章などに表したり、友達と意見交換をしたりする。

4 人材リストを作成し活用する

地域のものづくりに携わる高い技能技術をもつ人、保護者や地域の人及び近隣の高校生や大学生など、ものづくり教育に関する地域協力者のリストを作成し活用する。

本研究の詳細につきましては、東京都教職員研修センター紀要第4号を御覧ください。

平成17年3月 東京都教職員研修センター

ものづくり教育

- 豊かな人間性と創造性を育てるために -

ものづくり教育で、どのような子どもが育つのですか？

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 学習した内容を自ら活用する | 友達のよい面に気付く |
| 自分の考えを基に工夫する | 安全に配慮する |
| 集中して物事に取り組む | 協調して物事に取り組む |
| 自分や友達の作品を大切にす | 働くことの素晴らしさを理解する |
| 技能技術の素晴らしさや努力の大切さに気付く | |

豊かな人間性と創造性を育てます

ものづくり教育とは、どのような教育なのでしょうか？

教科等の学習を通して、ものづくりにかかわる知識や技能の習得を図るとともに、ものづくりへの意欲を高める教育です。

教科等のねらいを達成する過程で、次のねらいを重視します。

- ア ものをつくることにかかわる基礎・基本を習得すること
- イ ものづくりを通して、ものをつくる楽しさや達成感を味わうこと
- ウ ものづくりに携わる人やその作品などのかかわりを通して、働くことを理解したり、自分の生き方について考えたりすること

教科等で実践するには、どうしたらよいのでしょうか？

ものづくり教育はすべての教科等で実践できます。ものづくり教育のねらいと関連の深い内容が含まれる単元等において、教科等のねらいと関連させて実践することが大切です。

ものづくり教育のねらいを効果的に達成できる教科等(学習指導要領の目標や内容からの分析)

【ねらい ア】

ものをつくることにかかわる基礎・基本の習得

国語、算数、数学、理科
図画工作、美術、
家庭、技術・家庭

【ねらい イ】

つくる楽しさや達成感の感得

理科、生活、音楽、
図画工作、美術、
家庭、技術・家庭

【ねらい ウ】

働くことの理解
将来への自己の考察

社会、生活、
道徳、特別活動、
総合的な学習の時間